

萩ジオパーク 推進協議会だより vol.66

萩ジオパーク推進協議会

| 2020年8月31日発行 |

〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hagigeo/>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject/>



どこでもジオツアー、続々開催！

6月からスタートしたオンラインのジオツアー『どこでもジオツアー』を、8月も2回開催しました。



『親子で！小さな火山探検隊』

8月10日（月・祝）に実施したこのツアーは、笠山を舞台に山頂と海岸沿いの森を探検する内容で、萩ジオツーリズム協会の皆さんが初めて企画からガイドまでを担当しました。参加した子どもたちからはたくさんの質問が飛び出し、終始にぎやかに楽しくツアーが進んでいきました。「本当に野外を探検しているようで楽しかった」という声もいただき、コロナ禍で例年と違う夏休みに、少しでも思い出作りのお手伝いできたようです。テレビ局の取材も入り、当日の様子は中国地方版のニュースでも取り上げられました。

『ナイトジオツアー・夜の火山探検隊』

8月22日（土）のナイトツアーは、暗闇の森や海を探検するという初めての試み。何が起ころかわからないドキドキの中で、野生のタヌキやタコに遭遇するなど、この時にしかない出会いもあり大いに盛り上がりました。



次回は、9月19日（土）に萩城下町を舞台に **地球目線のまち歩き・萩城下町編「長州藩主と知恵くらべ」** を開催することが決まっています。多くの皆様のご参加をお待ちしております！

萩ジオパークが全国に先駆けて開催してきたオンラインジオツアーの取り組みは、8月22日には南紀熊野ジオパークが初めて開催するなど、日本ジオパークネットワークの中でも広がり

始めました。これからも、いろんなジオパークのツアーに自宅から参加できるようになるよう、盛り上げていこうと思います。

オンラインツアー情報はこちら →



withコロナの夏を終えて

新型コロナウイルスの影響がまだまだ続く中、いつもとは違う夏が終わろうとしています。長いはずの夏休みは、今年は2～3週間程度の地域が多く、外出自体が難しかったことと思います。そんな中でも、萩ジオパークに少しでも触れて、楽しんでいただきたいという思いで様々なプログラムを提供してまいりました。

3種類のミニ実験キットは店頭販売だけでなく通信販売も始め、2度も3度も楽しんでいただけるよう、解説動画や実験と関連する野外体験の動画をインターネット上で公開しました。オンラインジオツアーは、手で触れていただくことはできませんが、顔を見てお話をしながら現地の空気を感じていただきました。「今年は遠くに出かけられなかったけど、自然の中を本当に歩いているような気分になれて良かった」という、千葉県から参加してくださった小学5年生の言葉が忘れられません。

誰も経験をしたことがない状況をどう乗り越えるのか、いろいろな方々と知恵を絞って動いてきたこの経験は、今後の活動にも生きてくると信じています。実験キットは学校の授業やガイドツアー、体験プログラムでも活用できそうです。オンラインツアーを作っていく中では、新たなガイド手法が生まれたり、宿泊施設との連携の可能性が見出せたり、オンラインではない現地ツアーの発展にもつながる動きとなりました。来年以降の夏休みに、これまでよりさらにパワーアップした体験を一人でも多くの方々に提供できるよう、引き続き皆さんと一緒に試行錯誤を続けていきたいと思っています。



萩商工高校生が萩ジオパークの観光振興に貢献！ 笠山山頂展望台に人数カウンターを設置

8月12日より、山口県立萩商工高等学校の電気・機械科の生徒さんによる課題研究の一環で、萩市椿東の笠山山頂展望台に来訪人数を計測するカウンターを試験設置しました。これはいわゆる赤外線センサーを利用したもので、人がそのセンサーのあるところを通過するとカウントされ、即座にその情報が届くという仕組みです。

ご存知の方が多いと思いますが、笠山山頂展望台は、普段は無人管理となっており、毎日どれだけの人が訪れているのかわからない施設です。萩商工さんの研究のお陰で、利用者数の状況が即座に把握できることは、今後の展望台整備に向けて貴重な参考データとなりそうです。状況はオンライン（下記URL）でどなたでも見ることができますので、ご覧ください。

<https://ambidata.io/bd/board.html?id=14838>

（PC、Mac、androidのWEBブラウザで閲覧可能です（ただし、ブラウザによってはうまく表示できません））。

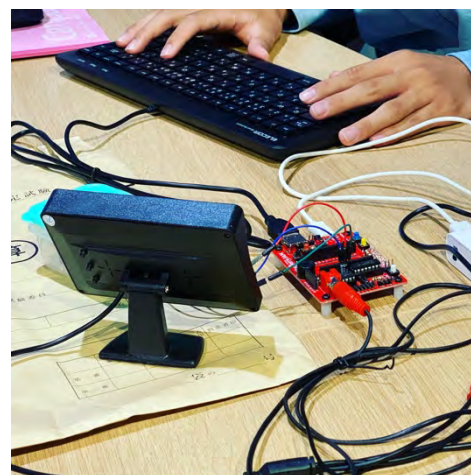


設置場所を検討中

今後は、須佐ホルンフェルスや壺ヶ淵なども調査対象として検討中です。地域の学校との連携で萩ジオパークの振興が進んでいく一例として、これからもこの取り組みが発展することを期待しています。



萩商工の生徒さんによる人数カウンターの仕組みのプレゼン



赤い小さな機械が本体

オンラインでつながりました

萩ジオパーク推進協議会 学校教育連絡会議開催

8月20日、萩ジオパーク推進協議会 学校教育連絡会議をオンラインで開催しました。コロナ感染防止のために3密を避け、会議出席にかかる時間の削減や、萩ジオパークのオンラインの取組に触れてもらうことを期待して企画しました。Zoomでのオンライン会議は初めてという先生も多かったのですが、早めに参加した先生同士で教えあいながらスタートしました。冒頭に、中村萩市教育長が挨拶されたあと、萩ジオパーク推進協議会の今年度の活動計画や、オンラインでの取組を紹介しました。休憩を挟み、小グループに分かれて、オンライン会議の感想や各校でのジオパークを使った学習について情報交換しました。

オンラインを使って簡単に情報交換できることが面白かったという感想や、児童の発表の場として、オンラインの仕組みを使いたい、などの意見が出ました。新しい生活様式が求められ、学校現場の課題解決の一手段として萩ジオパークを使ってもらえれば、と思います。



萩ジオeアカデミー開講に向けて（続報）

萩ジオパーク推進協議会だよりvol.64で紹介した萩ジオeアカデミーは、現在、先生方にコンテンツ作りを依頼しているところです。今回はお家が講座会場、各自で動画を視聴いただきます。急速に進むIT化に、まだ慣れない人も多いと思いますが、これを機にITデビューしてみませんか。

- 申込方法：次号推進協議会だよりvol.67、または、公式HP、SNSで紹介するインターネットチケット販売サービスPassMarketのURLから申し込む。募集開始10/1～
- 受講料：1講座500円、全講座5,000円（オンライン決済（クレジットorコンビニ））
- 講座内容：日本の地質とジオパーク/プレートテクトニクスの基礎/地形の基礎/火山の基礎/地層と堆積作用/付加体とジオパーク/白亜紀マグマ活動/日本海形成と日本の地質/活断層と地震/地形・土壌と植生/地質図の世界/地球史とジオパーク全12講座（vol.64参照）
- 受講方法：10/20（予定）から、週1回程度、萩ジオパーク推進協議会から電子メールで送られる視聴用URLをクリックし、パスワード入力して30～60分の動画を視聴。好きなときに何度でも視聴できますが、ダウンロードはできません
- 問合せ：萩ジオパーク推進協議会（電話：0838-21-7765）



『活断層と地震』をお話
いただく金折裕司先生の
イントロ動画を撮影中

// 10月にリニューアル //

萩ジオパーク推進協議会の公式ホームページが 新しくなります！

現在、萩ジオパーク推進協議会の公式ホームページについては、萩市公式ホームページ内に設置されています。ご存知のとおり、萩ジオパークの活動は、萩市と阿武町、山口市阿東地域の2市1町にまたがる活動なので、萩市のWEBサイトを利用していることは、あまり健全な状態ではありません。そこで、今年度、約110万円をかけて独立したサイトを整備します。これまで以上に、分かりやすく親しみやすいWEBページを作成し、地域の皆さんにはより萩ジオパークの活動が身近に感じられるものを、また、地域外からの来訪者には、萩ジオパークへ行きたくなるような、魅力的な情報発信をしていきたいと思っております。

10月には皆さんに新しいホームページをご覧いただけるよう、ただいま絶賛整備中です。どんなサイトになるのか、乞うご期待！

9月の予定 - Information -

○【オンラインガイドツアー】「どこでもジオツアー」#05「地球目線のまち歩き～萩城下町編」
9月19日（土）10：00～11：30 内容：オンライン会議ツール「Zoom」を使って行うオンラインツアー 参加費：3,000円（プレミアムプラン、10名）、2,000円（ベーシックプラン、50名）申込：チケット通販サイト「PassMarket」からクレジット決済 販売期間：8/25～9/14 主催：萩ジオパーク推進協議会 問合せ：萩ジオパーク推進協議会（0838-21-7765）

○ geoとも（萩ジオ友の会）定例会「ジオ探訪」 9月19日（土）9：20～16：00 集合場所：萩市中央公園 内容：花崗岩の海岸めぐり 参加費：実費 主催：geoとも 問合せ：geoとも西嶋（0838-26-6123）



はん だ がんばれ!半田くん



原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第34話 半田くんのお家へ来たよ



第35話 ライムは溶けて固まって



わっきー教授のつぶやき ~ひとこと解説~

今回は、いよいよ半田君の実家、萩市半田地区にやってきました。半田地区は、萩市街から東南東に直線距離で12キロくらいの場所にあります。萩市福井上半田です。この半田地区には、石灰岩が分布していることが古くから知られていました。昭和7年に、吉田初三郎によって描かれた屏風絵「名勝萩と長門峡之図」にも石灰山として描かれています。フズリナなどの化石を産することから、地質の研究者にも良く知られており、河野通弘先生などにより研究報告がなされています。わっきー教授も、20万分の1地質図幅「山口及び見島」を作成するときに、真っ先にこの半田地区と隣接する蔵目喜地区に調査にやってきました。山口のジオを語る上で欠かすことのできない場所の一つなんです。この四コマ漫画の主人公“半田ライム”くんが、登場した背景にはそのような理由があります。

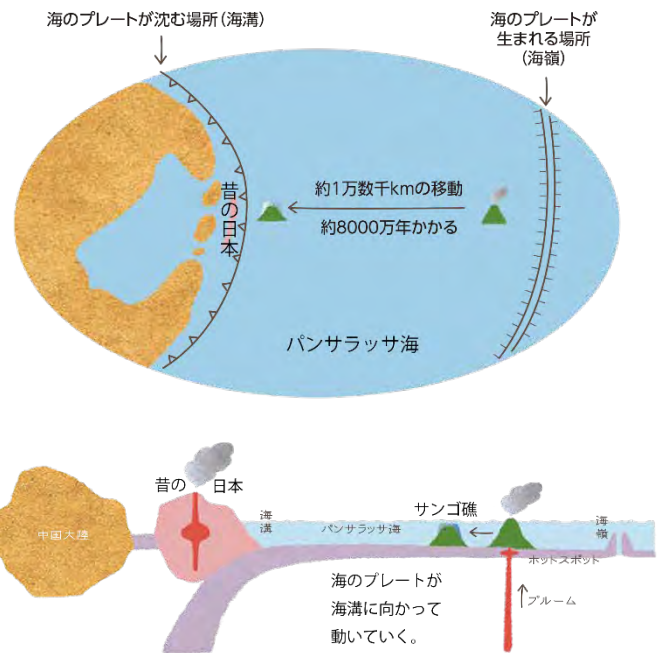


これらの石灰岩は、もともと今から約3億4000万年前に、当時の広い海（パンサラッサ海）の真ん中で噴火した海底火山の頂上で、サンゴ礁として誕生しました。海底火山は噴火が終わり、冷たくなるとその山頂の浅い海は、サンゴやフズリナなどの小動物の楽園となりました。それらの小動物の遺骸が積み重なり、厚いサンゴ礁を作っていました。このサンゴ礁は、海のプレートが地球の表面を少しずつ（年に数センチから10数センチくらい）移動していき、今から約2億6000万年前に、当時の日本に到着しました。日本に到着すると、そのサンゴ礁は日本周辺の他の石と合体して、日本の地盤の一部に取り込まれていきました。そうして、日本の地盤の仲間になったものが、半田地区や蔵目喜地区そして、秋吉台の石灰岩なのです。半田地区の石灰岩には、観音窟や佐々連洞などの鍾乳洞があり、かつては観光洞として入洞できた時期もあったようです。また、半田地区の地名に大久保や宮ヶ久保など、秋吉台のドリーネに相当する穴を暗示させる地名が残っており、この地区の石灰岩がカルスト地形を形成していることが分かります。



半田石灰岩

さて、石灰岩といえば、お隣のMine秋吉台ジオパークに秋吉台や秋芳洞で有名な“秋吉石灰岩”がありますよね。半田地区や蔵目喜地区の石灰岩は、秋吉石灰岩に比べて規模は小さいのですが、その地質学的価値や重要性は、引けを取りません。また、石灰岩ができた時代や出来方も、秋吉石灰岩と同じで、同じ親から生まれた兄弟のような存在なのです。石灰岩は、阿武川温泉の近くの萩市川上地区にもありますが、この石灰岩はチャートという固い岩石をしばしば伴っています。



これらの図は、美祿秋吉台ジオパークで考える地球の奇跡(脇田編集2020)を改変したものだ